

としよかん だより

長崎市立図書館

〒850-0032 長崎県長崎市興善町1-1

TEL 095-829-4946 FAX 095-829-4948

ホームページ <https://lib.city.nagasaki.nagasaki.jp/>



ホームページスマホ版

2023.6 No.184



Topic

■長崎市立図書館のロゴマークができました！

はじめまして！
翼は本をイメージしています。
これからどうぞ
よろしくお願いします♪



Information

図書展示

- 1階特集展示 色を見る/読む (6/2~6/29)
- 2階特集展示 人生100年時代 ~あなたならどう生きる~ (6/2~6/29)
- YA特集展示 読書感想文におすすめの本
- YA投稿展示 部活あるある募集
- 児童特集展示 ふってくる・ふってくる 雨のふしぎ
- 児童ミニ展示 わたしのかぞく (~6/18)
ドキドキ!ぞくぞく!おばけ・妖怪のはなし (6/19~)



イベント

本・雑誌のリサイクル市 **申込不要**

6月11日(日) 10:00~16:00

多目的ホール

※当日、東口にて9:30より整理券を配布

12:30から整理券なしで入場可能

図書館で利用されなくなった本や雑誌を、
無料でおゆずりします。

おひとり10冊まで。うち児童書は5冊まで。
14:30からは冊数制限ありません。

読み聞かせ基礎講座

要申込

~絵本の読み方・選び方~

6月19日(月) 10:15~12:00

多目的ホール 定員 50名

申込方法 メール

宛先: kikaku@lib.city.nagasaki.nagasaki.jp

件名: 読み聞かせ講座

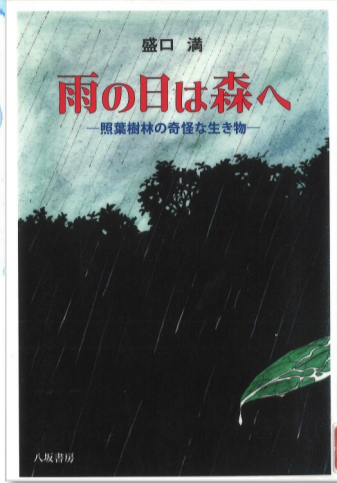
本文: ①氏名②電話番号③活動中の方は対象年齢

保育園や学校などで、
複数子どもを対象とした
読み聞かせを行なうときの
読み方の基礎、絵本の選び方、
注意するポイントなどについて
お話します。



BOOKS：雨

梅雨のこの時期、私たちの生活に恵みや災害をもたらす「雨」について探求しませんか？
小説から自然科学、建築術に歴史まで。さまざまな視点から雨に関する本を紹介します。



雨の日は森へ 照葉樹林の奇怪な生き物

盛口 満/著
八坂書房
2013年刊
ラベル：653.1モ(2階フロア)

はじめとした雨の日の森の中には、奇怪な生き物や植物がいっぱい。手書きのイラストを交えつつ、九州南部や沖縄の森にすむ多様な生き物たちの生態を学術的な視点で綴る。



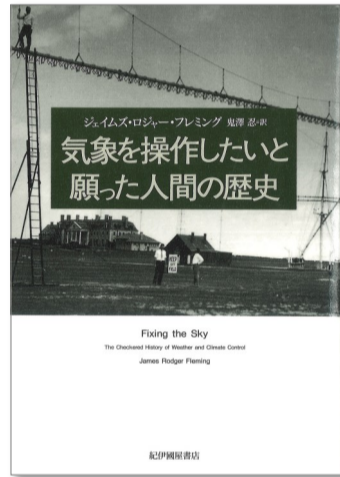
雨と生きる住まい 環境を調節する日本の知恵

LIXIL出版
2014年刊
ラベル：524.8ア(2階フロア)

日本家屋には、雨や湿気に備えた工夫が施されている。その工夫の数々を写真や図を使って解説。さらに、『万葉集』などの文学作品や江戸時代以降に描かれた絵画の中の、雨にまつわる表現についても紹介する。

気象を操作したいと願った 人間の歴史

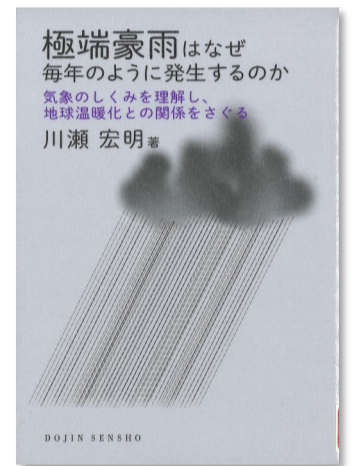
ジェイムズ・ロジャー・フレミング/著
鬼澤 忍/訳
紀伊國屋書店
2012年刊
ラベル：451フ(2階フロア)



古今東西、人間のさまざまな思惑が絡む中で、雨を降らせようとする実験が繰り返されてきた。環境を支配したいと願い、気象を操作しようと幾多の試みを重ねてきた人間の歴史を辿りつつ、現代地球工学の社会的・倫理的・公共的懸念を明らかにしていく。

極端豪雨はなぜ毎年のように発生するのか 気象のしくみを理解し、地球温暖化との関係をさぐる

川瀬 宏明/著
化学同人
2021年刊
ラベル：451.6カ(2階フロア)



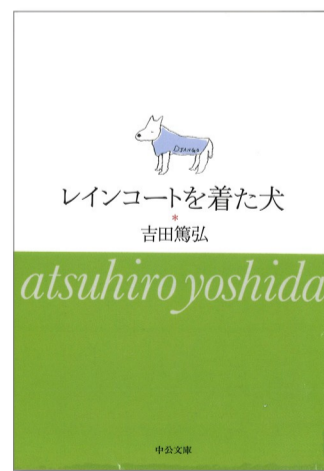
近年、頻繁に発生する豪雨。2011年から2020年までを例に、発生するしくみなどについて、著者の意見を交えながら解説。豪雨と地球温暖化の関わりも述べる。



雨夜の星たち

寺地 はるな/著
徳間書店
2021年刊
ラベル：F913.6テラ(1階日本現代)

空気を読むことや暗黙の了解など、雨夜の星のように目には見えないものが苦手な主人公。その“長所”を買われ、気疲れの多いお見舞い代行業の「しごと」にスカウトされる。「しごと」を通じての出会いや周囲の人との関係と、誰もが抱える生きづらさが描かれる。



レインコートを着た犬

吉田 篤弘/著
中央公論新社
2018年刊
ラベル：B913.6ヨシ(1階文庫)

舞台はレトロな雰囲気漂う架空の町「月舟町」。映画館の看板犬“ジャンゴ”の目線で、彼を取り巻く愛すべき人々の日常が描かれる。思索する犬の視点と、雨の描写が印象的な物語。月舟町シリーズの三作目だが、これ一冊でも楽しめる。

